東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

（再版）

# 觀察の實際

○觀察の實際については何か參考したいといふ御希望は皆樣から常に伺ふ所、本書はその爲に最も適切親切なる書である。

菊判一三〇頁
定價金壹圓
送料 東京市內 金六錢
其他 金九錢

日本幼稚園協會編

## 幼稚園談話集（四版）

菊版三五〇頁 定價金壹圓五拾錢
送料 市內 金六錢
地方・北海道・臺灣 樺太・朝鮮・滿洲 金拾五錢

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

## 系統的保育案の實際（四版）

定價 金壹圓
送料 金六錢

## 幼兒の教育（月刊）

一ヶ月 金參拾五錢 送料金一錢
一ヶ年 金四圓貳拾錢 送料共

東京女高師附屬幼稚園內 東京・小石川・大塚三五

日本幼稚園協會

振替東京一七二六六

# 文部省主催保育講習に就て

**期　間**　自七月二十二日至同二十六日（午前八時より正午まで）

**會　場**　東京女子高等師範學校（東京市小石川區大塚町三十五番地）

**講習員資格**　幼稚園保姆及幼稚園關係者

**講習員定員**　三百名

〔注意參考〕

一　講習員ハ一人ニ付約金七拾錢ヲ要ス
一　講習員ハ上履、官製古端書三十枚、クレヨン、鋏、糊、鉛筆、物指ヲ持參スベシ
一　講習員ニシテ學校寄宿舍ニ宿泊ヲ希望スル者ハ七月十五日マデニ該校寄宿舍宛申出ヅベシ。食事（晝食ヲ除ク）舍費ヲ併セ一日ニ付金壹圓五拾錢ノ割。尚敷布ハ各自持參ノコト。

〔取扱上ノ注意參考〕

一　講習員ハ地方長官ニ於テ選定ス
一　地方長官ハ講習員ヲ選定シタルトキハ選定書ヲ七月十五日迄ニ到著ノ日取ヲ以テ會場校長宛並ニ文部省宛提出スベシ
一　講習員ハ午前八時マデニ會場ニ出頭シ出席簿ニ捺印スベシ
一　前講選定ニ對シ何等ノ通知ナキトキハ受講ヲ許可セラレタルモノトス
一　講習修了者ニハ其ノ出席日數等ヲ査案シ修了證書ヲ授與ス
一　講習ニ要スル印刷費其ノ他雜費ハ講習員ノ負擔トシ開會前ニ之ヲ納ムルコト

## ○緊急御注意

本年の文部省主催の保育講習會は官報による告示が或は多少遲くなるかも知れないといふことであります。しかし、府縣廳には、特別の扱ひを以て、七月上旬には文部省より通告せらるる筈でありますから、官報告示を待たず地方當局より出席の選定を受けらるるやう、迅速なる處置を講ぜられたいと思ひます。官報告示を待つて後手續を執られる時、期日に間にあはなくなるといふやうな遺憾のことのないやう、特に當局の諒解を得て、本會より豫め御注意申上げて置きます。

---

本年度の文部省主催保育講習は右の通り東京に於て開催せらるゝことに決定、講習科目及び講師は、（一）**國民學校と國民幼稚園**（倉橋惣三氏）。（二）**幼兒の衛生**（荻原兼文氏）。（三）**物資活用手技**（及川ふみ氏）。（四）**建國童話の實演指導**（久留島武彦氏）。に豫定せられてゐる由であります。新らしき國民學校への關係に於ける幼稚園の新検討の必要緊急なるは申すまでもなく、時局下に皇紀二千六百年を迎へて建國童話の研究は一層の意義を深くし、國民錬成の第一義としての幼兒保健問題は一段と深酷化し、手技の實際に於ける物資問題の新考案は益々急務となり來つてゐます。此の多事多端裡にあつて特に保育講習を開催せらるゝ文部省の深き趣旨に對し、全國幼兒保育者諸君の、感激と熱意とを以て多數出席せらるゝことを信じて疑ひません。

昭和十五年六月

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
**日本幼稚園協會**

# 本會夏期講習會

本年は文部省保育講習が七月二十二日より二十六日まで東京女子高等師範學校に於て開催せられる事になつて居りますので、その午後に於て本會主催左記講習を催します。

**期日**　自七月二十二日　至二十五日(四日間)午後一時より四時まで

**場所**　東京女子高等師範學校

**講師**　新唱歌　新振付　幼稚園遊戯(實習)(十二時間)
東京女子高等師範學校教授　戸倉ハル君

戸倉講師の遊戯指導に於ける盛名は更めて申すまでもなく、殊に本會講習のために拂はるゝ特別なる熱心と周到とは、毎年會員諸君の十二分の御滿足を得らるるところであります。

本年は更に多數の新作唱歌と新作振付の發表が盛られて居り、その新唱歌はフレーベル賞當選の創作を始め本會として新主張のもとに保育界に提供せんとするもの、中山晋平氏梁田貞氏その他いづれも權威ある諸大家の作曲と戸倉氏苦心の振付を以てせるもの、全國幼稚園に普く用ゐらるゝことを期待してゐるものであります。多數會員諸氏の奮て御參加を切望します。

遊戯實習の服裝は、洋服或は袴著用、靴穿きを嚴守して下さい。

**會費**　金參圓　(會費拂込後は御參否に不拘返戻いたしません)

**申込**　御希望の方は七月十五日までに本會講習會係宛（東京市小石川區大塚町東京女子高等師範學校内日本幼稚園協會）に講習料を添へお申込み下さい。御住所(受信所、奉職所名)必ず御明記置き願ひます。講習料のお拂込みは振替（東京一七二六六　日本幼稚園協會）を御利用下さい。

講習料の受領證にかへ、會員證及び汽車汽船割引券を御送附しますから、御申込の振替口座又は爲替に、御送り先き(縣、市、町番地)と御姓名を詳細に明瞭に御記入置き下さい。

**宿泊**　本校寄宿舎(當構内)で女子に限り宿泊の御便宜を計ります。(文部省主催講習會員及び日本幼稚園協會講習會員共)

費用一泊金壹圓五拾錢(二食つき)宿泊料は御入舎の上でお支拂ひ下さい。前以つての御支拂はお斷りいたします。

宿泊御希望の方は、聽講申込と共に本會講習會係宛必ず豫め(七月十五日まで)お申込み下さい。(なほ敷布は各自御持參を便とします)

**鐵道割引特典**　汽車賃五割引
汽船賃三割引

## ○御注意

文部省主催保育講習會御聽講手續については七月上旬の官報を御覽下さい。つまり府縣廳へ願ひ出られて推薦せられる順序です。本年は或は官報告示の日がおそくなるかも知れませんが、その點お含みの上豫め府縣廳のお係りの方へ御希望申出で御交渉置き相成るが便利と存じます。

文部省主催講習會と日本幼稚園協會主催講習會とは全く別の主催でありまして文部省主催講習會の御聽講は地方長官を經て正規の手續をなさらなければ出來ません。本會へ御申込になりましてもお取次ぎ致すことは出來ません。

右念の爲め御注意申上ます。

昭和十五年六月

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日本幼稚園協會

倉橋惣三編（新刊）

# 新體幼稚園唱歌

目次

| | | |
|---|---|---|
| 日本の旗日の丸の旗 | 倉橋惣三作詞 | 小松耕輔作曲 |
| 道ぶしん | 倉橋惣三作詞 | 井上武士作曲 |
| いうびんやさん | 倉橋惣三作詞 | 弘田龍太郎作曲 |
| 渡し場の船頭さん | 倉橋惣三作詞 | 中山晉平作曲 |
| 火消しのをぢさん | 倉橋惣三作詞 | 小林つや江作曲 |

四六倍判

定價（送料共）金七拾錢

日本幼稚園協會編（新刊）

# 幼稚園新唱歌

目次

| | | |
|---|---|---|
| めだか | 山村きよ作詞 | 小松耕輔作曲 |
| ほたる | 青山綾子作詞 | 小松耕輔作曲 |
| 雨 | 杉山米子作詞 | 小松耕輔作曲 |
| ふしん場 | 氏原鍈作詞 | 小松耕輔作曲 |

四六倍判

定價（送料共）金五拾錢

○この二つの新刊幼稚園唱歌集は、幼稚園の爲に新しい歌曲を求めて居らるゝ方々に必ずや充分歡迎せらるゝことを期待してゐる。

東京・小石川・大塚町三五
東京女高師附屬幼稚園内

**日本幼稚園協會**

振替東京一七二六六

# 第拾貳回保育夏期講習會

主催　佛教保育協會
後援　佛教各宗々務所

本會主催保育夏期講習會は皆様の御援助により昭和四年創立以來毎夏一回も休まず早くも第十二回を迎へました、然かも昨年は定員を超過すること百數十名に及び全く感謝の外ありません。就ては本年の講習の特色といたしましては

**一、講習科目中に明年度より實施の國民學校と幼稚園との關係に重きを置いたこと**
**二、會場を交通その他に最も便利な帝都の中心地「銀座」に選んだこと**
**三、本年より鐵道五割引の特典を受けたこと**

等であります。いづれも「皆さんの講習會」といふ氣持より決定した次第でありまして本年も何卒多數御誘ひ合せの上御來會の程お待ち申しております。

## ……………要　項……………

**一、期　日**　昭和十五年七月二十七日より三十一日まで五日間（毎日午前八時より午後四時まで）

**一、會　場**　東京市京橋區西銀座數寄屋（スキヤ）橋畔
東京市立泰明尋常小學校
◇市電、市バス、青バス……數寄屋橋（日本劇場前）下車
◇地下鐵……銀座下車、約一丁
◇省線……有樂町驛下車、約一丁

**一、講師及科目**

一、國民學校と幼稚園との連絡（**二時間**）　東洋大學教授 本會中野保姆養成所教頭　關　寛之先生
一、興亞教育の眞髓（**二時間**）　前京都女子專門學校長 眞宗本派築地本願寺輪番　朝倉曉瑞先生
一、幼兒と榮養（**二時間**）　國立榮養研究所長 醫學博士　佐伯　矩先生
一、幼兒と體育（**二時間**）　三橋體育研究所長　三橋喜久雄先生
一、童畫の導き方（**二時間**）　東京高等師範學校教官　板倉贇治先生

一、幼兒唱歌の導き方（四時間）　四家文子先生

一、廢物利用新手技教材（六時間）　本會中野保姆養成所教授　卜部たみ先生

一、遊戲指導（十三時間）

（一）舞踊の本質と幼兒舞踊（三時間）　江口・宮・舞踊研究所長　江口隆哉先生

（二）幼兒向一般遊戲（十時間）　タンダバッハ舞踊研究所長　賀來琢磨先生

一、講習料　金參圓

一、定員　四百名

一、申込場所　東京市京橋區築地三丁目一番地本願寺社會部内

佛教保育協會夏期講習會事務所（電話京橋四、三九七 七二〇番　振替口座東京七八六六七番）

一、申込期限　七月二十五日迄（但し定員超過の場合は期日前に〆切ることがあるかも知れません）

一、宿泊　一泊二食付金壹圓五拾錢にて會場より程近き築地本願寺宿泊部を御紹介申します、（御希望の方は申込書の「宿泊要不要」の文字をお消し下さい）

一、鐵道割引　本講習會に參加せらるゝ方に限り鐵道五割引の特典が與へられます（割引劵入用の方は申込書の「鐵道割引劵要不要」の不要の文字をお消し下さい尙一度發行した割引劵は必ず御使用下さい割引劵は片道五十粁以上で往復劵購入にのみ有效です）

一、見學　御希望の方に限り八月一日に東京市内の保育施設、社會事業施設を御案内致します。

一、講習證書　講習終了者には終了證書を授與いたします。

一、時間割

| 時＼日 | 二十七日―土 | 二十八日―日 | 二十九日―月 | 三十日―火 | 三十一日―水 |
|---|---|---|---|---|---|
| 八時―九時 | 開會式 | 板倉講師 | 卜部講師 | 佐伯講師 | 關講師 |
| 九時―十時 | 朝倉講師 | 板倉講師 | 卜部講師 | 佐伯講師 | 關講師 |
| 十時―十一時 | 朝倉講師 | 三橋講師 | 卜部講師 | 卜部講師 | 賀來講師 |
| 十一時―十二時 | 四家講師 | 三橋講師 | 卜部講師 | 卜部講師 | 賀來講師 |
| 一時―二時 | 四家講師 | 江口講師 | 賀來講師 | 賀來講師 | 賀來講師 |
| 二時―三時 | 四家講師 | 江口講師 | 賀來講師 | 賀來講師 | 賀來講師 |
| 三時―四時 | 四家講師 | 江口講師 | 賀來講師 | 賀來講師 | 閉會式 |

# 保育夏期講習會

皇紀二千六百年聖戰第四年の夏を迎へ、銃後を護る者の任務益〻重大の折柄、幼兒保育に携はる者の時局に對する正しき認識と、確固たる信念と優れた技術とが實に必要である事を痛感致します。本所はこゝに第三回保育講習會を開催し、非常時下幼兒保育に精進せらるゝ保姆諸姉に、多少なりとも貢獻せんとするものであります。奮つて御參加あらん事を切望致します。

昭和十五年七月

主催　帝都教育會附屬教員保姆傳習所

後援　帝都教育會附屬教員保姆傳習所　保姆科同窓會

要項

一、期間　昭和十五年七月二十八日ヨリ三十一日マデ四日間（每日午前八時より午後四時迄）

一、會場　東京府女子師範學校講堂（東京市小石川區竹早町八番地　市電、市バス、同心町下車）

一、科目と講師

（一）今日の幼兒を如何に保育すべきか　（一時間）　東京府女子師範學校教諭　帝都教育會附屬教員保姆傳習所講師　野口廣信先生

非常時の保育に就て保育者は如何なる考へを持つべきかと言ふ事を御指導下さる事になつて居ります。

（二）子供の世界　（二時間）　東京府女子師範學校教諭　帝都教育會附屬教員保姆傳習所講師　中野佐三先生

保育に新しい途を見出すには子供の世界の特徴を考察する事が先決問題であります。このために子供の世界について分り易く御指導下さる事になつて居ります。

（三）時局を取り入れた童話の作り方　（二時間）　東京府女子師範學校教諭　帝都教育會附屬教員保姆傳習所講師　井部正先生

正しい時局の認識を幼兒に與へる事が保育者の急務でありますので、今年は特に此の問題に就き懇切に御教示下さいます。

（四）幼兒の體育　（二時間）　厚生省體育官　森秀先生

保育に於ける體育は今こそ眞劍に考ふべきであります。此の問題に就き特にお話し下さる事になつて居ります。

(一)幼兒と傳染病　（二時間）

四季を通じて幼兒の罹り易い病氣に就て其の豫防と手當法を御懇切に御説明下さる事になつて居ります。

警視廳防疫課長　醫學博士　井口乗海先生

(一)自由遊びに就て　（二時間）

自由遊びが保育上如何に重要な意味を持つか、之を保育者がどんな態度で導いたらよいかと言ふ事をお話して下さいます。

帝都教育會附屬教員保姆傳習所講師　松石治子先生

(一)略畫の描き方　（二時間）

東京府女子師範學校教諭　八木悌二先生

保育上最も痛感する略畫の描き方に就て、今年は更に多くの種類に亙り親しく御指導下さいます（畫用紙とクレヨンを御用意下さい）

(一)幼兒に喜ばれる新手技の實習　（二時間）

東京府女子師範學校教諭　帝都教育會附屬教員保姆傳習所講師　宮内重利先生

幼兒に容易に出來る新しい手技教材に就て種々お教へ下さる事になつて居ります。（鋏、糊、クレヨン等を御準備下さい）

(一)音樂

一、童謡の指導法　（二時間）

東京女子高等師範學校教授　平井美奈子先生

幼兒にふさわしい可愛いゝ曲を御指導下さいます。

一、新作童謡の歌ひ方　（二時間）

東京府女子師範學校教諭　帝都教育會附屬教員保姆傳習所講師　大和田愛羅先生

幼兒に喜ばれる新しい童謡を撰んで其の歌ひ方を御教へ下さる事になつて居ります。

(一)童謡舞踊　（六時間）

島田兒童舞踊研究所長　帝都教育會附屬教員保姆傳習所講師　島田豊先生

舞踊界の權威として定評ある先生が、特に幼兒向の振付を發表される事になつて居ります。

(一)幼兒と詩、其他保育上有益な講演があります（交渉中）

一、講習料　金參圓也（出席の際御納め下さい）

一、資格　保姆竝に幼稚園關係者

一、定員　參百名

一、申込所　東京市小石川區表町八十八番地　帝都教育會附屬教員保姆傳習所　保育夏季講習會事務所（電話小石川二三七番）

一、申込期日　七月二十五日迄（但し定員超過の場合は期日前に締切ることがあります）

一、宿泊　宿泊御希望の方には宿舍を御世話致します。早目に前以て御申込下さい。

一、講習證　講習修了の方に授與致します。

# 第二回　保育問題夏季研究講座

**趣旨**　東亞新秩序の建設、聖戰の完遂は、次代を擔ふ幼兒の運命にかゝつてゐることです。その幼兒の保育に當る保姆は、自らの使命に光輝ある歷史的意義と信念をもち、たゆまぬ努力向上にいそしまねばなりません。われ〳〵は微力ではありますが、それに少しでもお力添えができればといふ氣持で、こゝに第二回保育問題夏季研究講座を開くことに致しました。從來の夏季講習會の型を破つた新しい試みは、必ずや眞實をもとめてゐる皆樣の要望にピツタリと合致することでせう。

**講座**　幼兒教育が今後進まねばならぬ方向を中心に、いろ〳〵考へたいと思ひます。

| | | |
|---|---|---|
| 國民教育と幼兒教育 | 法政大學教授 | 城戸幡太郎先生 |
| 保姆と母親 | 作家 | 村岡花子先生 |
| 女教師の立場から | 第四日野小學校 | 平野婦美子先生 |
| 幼兒の感情と性格 | 愛育研究所 | 山下俊郎先生 |
| 童畫と漫畫（交渉中） | 漫畫家 | 横山隆一先生 |

**研究發表會**　保姆としての教養を高めるためにも、日本の幼兒教育の水準を高めて行くためにも、お互の研究や實踐を交流し合ふことが必要です。そのために、現下の重要問題を選び四つの研究發表部會を設け、他に一部會を一般自由題のために當てました。それ〴〵本會の指導者の方々に司會を願ひ、更に研究發表の後で講評を兼ねて特別講演をして頂きます。研究發表希望者は、題目明記の上、至急お申込み下さい。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 一、健康保育 | 司會 | 愛育研究所保健部長 醫博 | 齋藤文雄先生 |
| 二、兩親教育 | 司會 | 愛育研究所教養相談主任 | 山下俊郎先生 |
| 三、問題兒 | 司會 | 東京農業教育專門學校教授 | 青木誠四郎先生 |
| 四、觀察 | 司會 | 成蹊學園 | 栗山重先生 |
| 五、自由題 | 司會 | 愛育研究所 | 三木安正先生 |

**協議會**　さきに教育審議會の「幼稚園に關する要綱」の答申があり、一方保育所令制定要望の聲が擧つてをりますが、われわれも、人的資源の涵養、皇民の錬成といふ立場からこの問題の再檢討に着手し、既に本會内に「就學前教育制度研究委員會」を組織して研究を進めてをります。この國策的問題を選んで協議會を開くことにしました。

## 就學前教育の問題

司會　本會々長　城戸幡太郎先生

**文化映畫の夕**　保育の問題を扱つた文化映畫も追々現はれてをりますが、これをまとめて鑑賞する機會は中々ありませんので、一晩「文化映畫の夕」を催すことに致しました。

**期日**　七月二十五日より二十九日まで

**會場**　法政大學（省線・飯田橋又は市ケ谷　市電・新見付又は一口坂）

**定員**　三百名

**會費**　三圓（但し夜間のみ、晝間のみの場合は半額）

**申込**　○東京市麹町區富士見町法政大學　兒童研究所内
**保育問題研究會**宛

○申込期日は七月二十三日まで

○申込と同時に會費納入のこと、拂込はなるべく振替口座で　**振替口座　東京六七七五五番**

○申込の折、お忘れなく住所（東京の宿所決定の方は併記）勤務先・姓名を書いて下さい。

○詳細は本研究會宛御照會下さい。

**日程表**

| | 午前九—正午 | 午後一—四 | 午後六—九 |
|---|---|---|---|
| 二十五日 | — | — | 講座 城戸先生 村岡先生 |
| 二十六日 | — | — | 講座 平野先生 |
| 二十七日 | 研究發表會 健康保育 | 研究發表會 兩親教育 | 講座 山下先生 |
| 二十八日 | 研究發表會 問題兒 | 研究發表會 觀察 | 講座 横山先生 |
| 二十九日 | 研究發表會 自由題 | 協議會 | 文化映畫の夕 |

**主催　保育問題研究會**

# 新刊

倉橋惣三作詞
小松耕輔作曲
戸倉ハル振付

# 日本の旗 日の丸の旗

色刷表紙四六倍判音譜及び振付說明

定價 送料共 一冊 **金參拾錢**

前金(振替或は參錢郵券)を添へ冊數及び送先き明記申込次第直に送本す

此の時局、幼兒兒童に何を唱はせませうか。どんな遊戯をさせませうか。本會は、今日**此の新しい唱歌と遊戯**とを全國の幼兒兒童の前に贈り得ることを最も欣快とするのであります。願はくは、皆さまのお力添へを俟つて、幼稚園に、學校に、家庭に、街頭に、津々浦々に、此の唱歌遊戯の流布を見るに至り得んことを。之れが本會の遠慮のない望みであります。

尚、此の刊行によつて得た金額は、**國防費に獻金**致したく、既に金百圓を獻金致しました。どうぞ此の趣旨にも御共鳴下さつて、尚ほ一冊でも多くお購求下さい。又廣くお勸め願ひます。一冊の御購買は即ち同時に國防獻金となるのであります。若し各幼稚園が此の意味に基いて、取りまとめて御註文下さるようのことまでして頂ければ、此の上ない幸であります。そのために表紙も美しい色刷りの家庭向きにして置きました。

右本會の二つの希望を御協贊願ひます。

發行所 **日本幼稚園協會**

東京市小石川區大塚町三十五
東京女子高等師範學校附屬幼稚園內
振替口座東京一七二六六番